

先生各位

冬季のウイルス性胃腸炎について

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて先般、話題のノロウイルスについてご案内いたしました。冬季に発生（特に乳幼児に）するウイルス性胃腸炎に、下記の2種類のものもございますので、ご紹介いたします。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬白

記

《 検査要項 》

検査項目名称	ロタウイルス抗原 (総合検査案内 p.72)	アデノウイルス抗原 (総合検査案内 p.65)
検査コード	1831	1836
検体量	糞便 1g	糞便 1.5g
容器・保存	K・凍結	K・凍結
実施料(判断料)	75点*(尿・糞便)	65点*(尿・糞便)
所要日数	1~2日	8~10日
検査方法	イムノクロマト法	ラテックス凝集法
基準値	(-)	(-)

* アデノウイルス抗原とロタウイルス抗原を同時に測定した場合にあっては、主たる検査の所定点数のみ算定する。

《 概 要 》

ロタウイルス感染症は、乳幼児のウイルス性胃腸炎の主要原因であり、冬季を中心にみられます。また、アデノウイルスは冬季の乳幼児のウイルス性胃腸炎の病原ウイルスとして、ロタウイルスに次いで多いとされています。